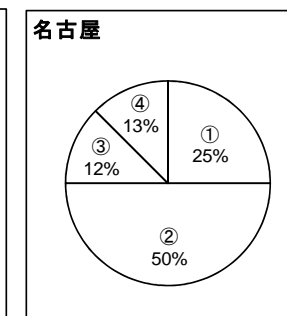
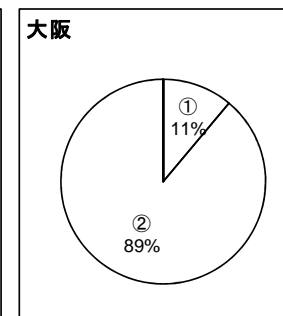
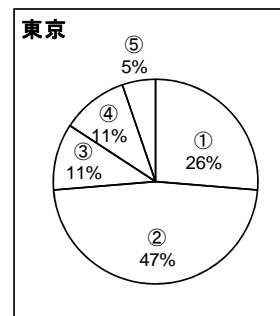


セミナーへのご参加、そしてアンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

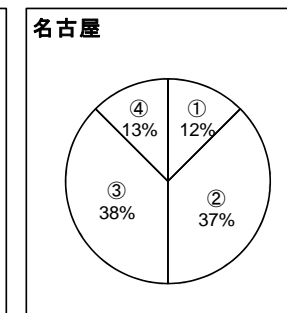
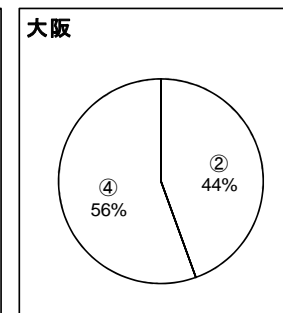
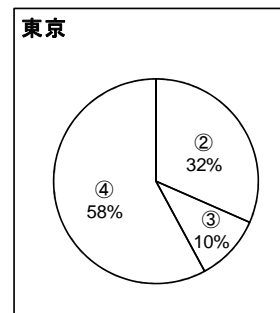
Q1. 債券投資のニッチ戦略について、一番近いものを、一つだけ、お選びください。

| | 東京 | 大阪 | 名古屋 | 合計 |
|--|----|----|-----|----|
| ① 債権投資の重要性は認識しており、現在、積極的に投資を行っている。 | 5名 | 1名 | 2名 | 8 |
| ② 現在、投資は行っていないが、このような魅力的な戦略があるならば、今後、検討したい。 | 9名 | 8名 | 4名 | 21 |
| ③ ニッチであるが故に、市場の広がりや深さなどの観点から、現在、投資は行っておらず、また、今後も検討する予定はない。 | 2名 | 0名 | 1名 | 3 |
| ④ その他 | 2名 | 0名 | 1名 | 3 |
| ⑤ 無回答 | 1名 | 0名 | 0名 | 1 |
| 合計 | 19 | 9 | 8 | 36 |



Q2. 東京電力福島第一原子力発電所の事故直後において、東京電力社債を保有していたとして、ご自身ならば、どのような投資判断をしたでしょうか。一番近いものを、一つだけ、お選びください。

| | 東京 | 大阪 | 名古屋 | 合計 |
|--|-----|----|-----|----|
| ① 値段のいかにかわらず、即時に売却する。 | 0名 | 0名 | 1名 | 1 |
| ② 即時に売却すれば、極端に低い価格となるのは自明だから、売却を前提とするも、しばらくは、様子を見る。 | 6名 | 4名 | 3名 | 13 |
| ③ 法律上、東京電力の破綻はあり得ないと信じて、保有し続ける。 | 2名 | 0名 | 3名 | 5 |
| ④ 破綻の可能性はあるにしても、先取特権をもつ特殊な債権なので、売却損の確定を急ぐよりも、保有し続ける。 | 11名 | 5名 | 1名 | 17 |
| ⑤ その他 | 0名 | 0名 | 0名 | 0 |
| 合計 | 19 | 9 | 8 | 36 |



Q3. 現在の東京電力ホールディングスの社債と、子会社で一般送配電事業に特化した東京電力パワーグリッドの社債、および、同じく子会社の東京電力燃料&パワーと中部電力とで共同設立し、燃料・火力発電事業に特化したJERAの社債が発行されるとしたら、ご自身ならば、どのような投資判断をされるでしょうか。一番近いものを、一つだけ、お選びください。

| | 東京 | 大阪 | 名古屋 | 合計 |
|--|-----|----|-----|----|
| ① 東京電力ホールディングスは、原子力事故の問題を直接抱えているとはいえ、東京電力グループの親会社なので、ホールディングスの社債に投資する。 | 1名 | 0名 | 0名 | 1 |
| ② 東京電力パワーグリッドは、今後、実質的にホールディングスの原子力関連費用の多くを負担することになるが、送配電という収益性が非常に安定した事業に特化しているので、パワーグリッドの社債に投資する。 | 6名 | 3名 | 3名 | 12 |
| ③ 原子力事故の問題に関連しないJERAの社債へ投資する。 | 2名 | 4名 | 4名 | 10 |
| ④ いずれも日本を代表する巨大公益企業のグループ会社であるが、各社ともに原子力関連の課題を有していることには間違いなく、潜在的なリスクが高すぎることから、どれにも投資はしない。 | 10名 | 2名 | 1名 | 13 |
| ⑤ その他 | 1名 | 0名 | 0名 | 1 |
| 合計 | 20 | 9 | 8 | 37 |

